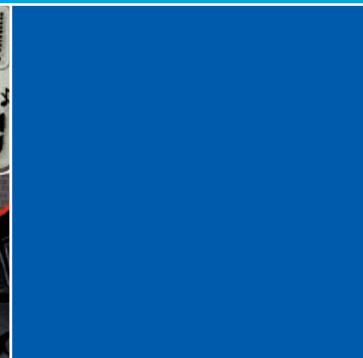
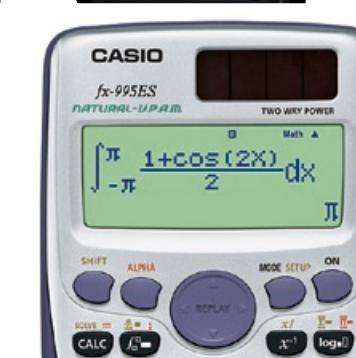




CASIO View

2012年度事業報告書
2012.4.1~2013.3.31





商品開発から事業開発へ。
新たなビジネスモデルによって
さらなる収益力アップを
目指します。

代表取締役社長

梶尾和雄

健全な体質を構築し 新たな事業の確立へ

Question

1 当期(2012年度)の業績について。
最大の成果は何でしょうか。

当期は事業構成の見直しと各事業の強化が効果を表し、大幅な増益となりました。

時計のブランド製品の売上が伸び、電子辞書も新製品の効果的な投入により好調に推移しました。デジタルカメラも高付加価値製品への特化と固定費の削減、販売エリアの見直しなどにより採算性を改善しました。システム事業もプロジェクターを除く全事業が収益を確保し、健全な事業基盤を構築することができました。

Question

2 今後の成長戦略について、
まず既存事業のポイントを
教えてください。

当社は時計や電子辞書、電卓などの事業でブランド力と技術力に支えられた高いシェアを持っています。こうした資産を活かした施策により、さらに売上を拡大します。

時計では高い収益力を持つブランド製品の比率を高め、収益力を強化します。具体的には発売30周年を迎えるG-SHOCKのプロモーションや販売促進をグローバルに展開します。また時計の新たな可能性の追求としてBluetooth®ウォッチを世界のメジャーなスマートフォンと接続していきます。これによって新たな用途を創造し市場を拡大します。

電子辞書ではカラー画面の表現力を活かしたコンテンツ展開により海外販売を強化します。

システム事業ではタブレット端末をさまざまな業種へカスタマイズして提供し販売を拡大します。

Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

Question

3 新規事業について、
進捗状況と今後の展開を
お聞かせください。

当社はこれまでも絶えず新しい市場を開拓することによって成長してきました。激しい競争の中でも成長を遂げ、将来の収益の柱に育てていくためには、従来になかった市場を創造していくことが最も効果的だと考えています。

当社は新規事業としてカシオサイネージ、カシオアート、リスト端末を推進しています。カシオサイネージは事業をスタートし、好感触を得ながら商談を進めています。カシオアートとは、独自の3次元デジタル技術に

カシオサイネージ

形状カットされたパネルに映し出されたキャラクターが、その場にいるような臨場感で来店者に語りかけることで、優れたアテンション効果を発揮します。カシオサイ

ネージに引き付けられたお客様に向けて、店舗固有の販促策を実現できるよう、電子クーポン発行などのクラウドサービスも併せて提供しています。

優れたアテンション効果で
顧客を引き付ける

店舗固有の販促策を実現
するクラウドサービス

= CASIO Signage



よって、従来にはない立体的な表現を可能にしたデジタル絵画です。6月より販売を開始し、ビジネスモデルの早期確立を目指しています。リスト端末は、ウェアラブル端末としてのあるべき姿を追求し、当社の技術力を活かした完成度の高い製品を年度内に開発完了します。

従来にないビジネスモデルの開発で新たな収益の柱をつくる

Question

4 カシオサイネージの差別化ポイント、今後の事業展開をどうお考えですか。

カシオサイネージはリアルな映像のキャラクターが語りかける、高いアテンション効果を持った端末です。これをネットワークに接続しクラウド技術を用いたサービスを提供することで、導入した企業が新たな顧客を獲得し売上を拡大できるビジネスを目指します。これを当社では「宣伝販促事業」と名づけ、新たなスタイルのBtoBビジネスとして展開します。当社はこのような端末とネットワークの融合により、

製品を作って販売するだけでなく、サービスを提供するビジネスを新たに開拓します。

Question

5 最後に株主還元方針など、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は経営努力によって生み出す利益を最大化し、株主の皆様へ継続的な還元を図っています。今回は当期の増益を反映させて、配当を従来の17円から20円に増配させていただきます。また生み出した利益をいちはやく株主の皆様へ還元するため、2013年度より中間配当を実施します。中間期10円、通期10円の配当を行う予定です。

今後も当社は開発力を武器に、新しい価値の提供を続け、さらなる成長を目指します。

皆様のご支援を、よろしくお願いいたします。

新製品紹介

New Products

人間の知的創造力を高めるために――。

カシオは「知る」「計る」「表現する」「経営する」といった人間の知的創造活動を支える製品を提供しています。



2012

10月26日
発売

時計

SHEEN
SHW-1504SG

輝く女性に向けた ソーラー電波ウォッチ

時字にきらきらと輝くスワロフスキー・エレメントをあしらひ、パステルカラーでまとめた女性向けモデルです。



2012

11月9日
発売

デジタルカメラ

EXILIM
EX-ZR1000

自由なアングルで撮れる デジタルカメラ

軽快な撮影レスポンスに加えて、さまざまなアングルで撮影を楽しめるチルト液晶を使って、自分撮りも簡単に楽しめます。



2012
11月23日
発売

時計
G-SHOCK
GB-5600AA

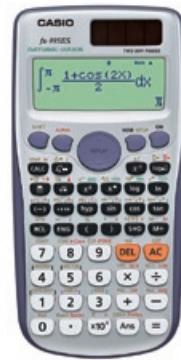


**iPhoneとつながる
タフネスウォッチ**

Bluetooth® v4.0に対応することで、スマートフォンやiPhoneと連携できる次世代型腕時計です。

2012
12月14日
発売

電卓
fx-995ES



**基本機能充実の使いやすい
関数電卓**

使い勝手を向上させ、基本機能の充実を図るとともに、当社のスタンダード関数電卓として初めて周期表原子量呼出機能を備えました。

2013
3月15日
発売

時計
OCEANUS
OCW-T2000



**スポーティエレガンスな
ソーラー電波ウォッチ**

エレガントな機能美を備えつつ、スポーティ感を高めた新フェイスデザインを採用し、大人の男性に最適な腕時計です。

2013
3月下旬
発売

電子楽器
Privia
PX-5S



プロクオリティの演奏性を発揮するステージピアノ

デジタルピアノとシンセサイザーの開発で培った技術を融合させることで、高品位なサウンドと高度な演奏表現力を実現しています。

2013
1月25日
発売

電子辞書
EX-word
XD-N6500

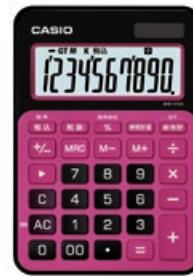


**動画で英語を楽しく学べる
電子辞書**

英語学習アニメ「リトルチャロ NY編」を収録。初心者から効果的に英語を学習できます。広い範囲の教養を深めたい人に最適です。

2013
2月8日
発売

電卓
MW-C12A



**女性に向けたキュートな
配色のカラフル電卓**

数値キーとディスプレイ周りをアクセントカラーで装い、女性に向けたキュートなカラーリングを採用したモデルです。

System
システム



2013
1月発売

プリンタ
SPEEDIA
GE5000-BR



**ランニングコスト削減を
実現するページプリンタ**

黒色トナーと新開発の赤色トナーにより店頭POPや印影付き書類などを低コストで印刷できる、2色/単色印刷専用プリンタです。

2013
3月8日
発売

デジタルカメラ
EXILIM
EX-ZR700



**高倍率ズームレンズ搭載
のデジタルカメラ**

光学18倍ズームレンズと手ブレ補正機能により、遠くから撮影しなければならない場面でもブレを抑えてしっかりと撮れるデジタルカメラです。

2013
3月15日
発売

電子文具
memopri
MEP-F10



**Wi-Fi接続対応の
小型プリンター**

Wi-Fi® 接続に対応し、iPhoneやスマートフォンと連携して、付箋紙感覚で貼って剥がせるメモを作成できます。

**海の中での発見や感動を共有
小型のダイブ・トランシーバー**

2013
1月18日
発売

Logosease (ロゴシーズ)

筆談や手信号でのコミュニケーションが一般的なダイビングで、音声を伝えられる水中用の無線機です。ポケットに収まる小型サイズの本体をダイバー同士がそれぞれ水中マスクに装着し、レギュレータをくわえたまま手軽に会話を楽しめます。



LGS-RG004



注目ニュース

Topics

TOPIC

01

CO₂排出量の少ない鉄道の活用により 4品目で「エコレールマーク」の認定を取得

国土交通省ならびに公益社団法人鉄道貨物協会が認定する「エコレールマーク」は、500km以上の陸上貨物輸送量のうち、30%以上を鉄道で運搬している商品に対して与えられます。当社は業界に先駆けて、クロック、デジタルピアノ、電子キーボード、電子レジスターの4品目で認定を取得しました。



TOPIC

02

シンセサイザー「XW-P1」が 2つの米国音楽雑誌よりアワードを受賞

ライブでの演奏表現を追求した「XW-P1」が、音楽雑誌「Electronic Musician」と「The Music & Sound Retailer」より、それぞれ「2013 Editors' Choice Award for Affordable Synth Awesomeness」と「Best Keyboard and Sound Module Award of 2012」の各賞を受賞しました。



TOPIC

03

関数電卓3機種が米国大学教育専門誌より 「Readers' Choice Product」を受賞

カラーグラフ関数電卓など3機種が、米国の大学教育専門誌「University Business」より「2012 Readers' Choice Product」を受賞しました。「University Business」は、大学教育・経営に関する情報誌で、最新の教育技術や経営、政策などを取り上げる権威あるメディアです。



TOPIC

04

G-SHOCK専門店がニューヨークのSOHOに オープン

耐衝撃時計G-SHOCKを専門的に扱う「G-SHOCKストア」を、ニューヨーク・マンハッタンのSOHO地区にオープンしました。最先端の流行に敏感な多くの若者が行き交うストリートに面し、機能やデザインが常に進化し続けるG-SHOCKブランドの情報発信拠点です。



TOPIC

05

中国教育省の教材研究所と 教育実験プログラムについて提携

中国の有名外国語学校21校に、当社の電子辞書やグラフ関数電卓、デジタルピアノ、データプロジェクターを提供し、各学校の授業で教育効果を上げるための教育実験プログラムの実施について、中国教育省の教材研究所と提携しました。



TOPIC

06

山形カシオに「Premium Production Line」 が完成

先進の生産技術を有する山形カシオに、OCEANUSやMR-Gといった高価格のブランド時計専門の製造ラインとして、新たに「Premium Production Line」を設置。経験に裏付けられた卓越した技能と画像認識や自動検査などの先進技術を融合し、製造段階でのブランド化も追求しています。



業績のご報告

Performance Report

当期(2012年度)の業績概要

当期における内外経済は、欧州債務問題の出口が見えないまま景気低迷が長期化しているものの、国内景気は円安効果もあり、ようやく緩やかな回復の兆しが見え始めてきました。

この環境下、当期の売上高は、2,977億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが2,278億円、システムが417億円、その他が281億円となりました。

時計は、世界的なブランド戦略の強化により、「G-SHOCK」や「PRO TREK」といったブランドが、北米やアジアなどの海外市場を中心に好調に推移し増収となりました。また、Bluetooth®でスマートフォンと連携できる「G-SHOCK」を発売し、新たなマーケットを開

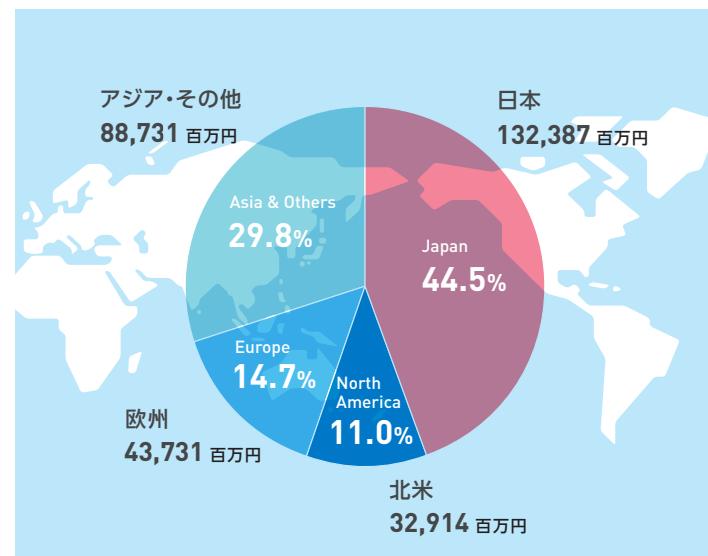
拓しました。女性向けブランドでは「Baby-G」や「SHEEN」のラインアップを拡充し、順調に推移しました。電子辞書は「エクスワード」シリーズの販売が学生向けモデルを中心に堅調に推移し、引き続き国内で圧倒的なナンバーワンシェアを維持しました。

損益につきましては、コンシューマは時計や電子辞書が引き続き高収益性を維持した結果、営業利益は265億円、営業利益率は11.7%となりました。システムは収益性の改善により、7億円の営業損失、その他は2億円の営業損失となりました。この結果、調整後の連結合計として営業利益は200億円、経常利益は197億円、当期純利益は118億円となりました。

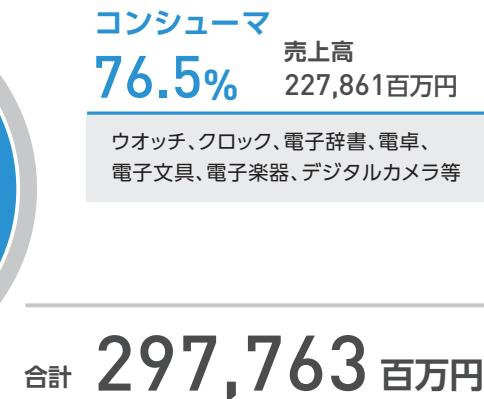
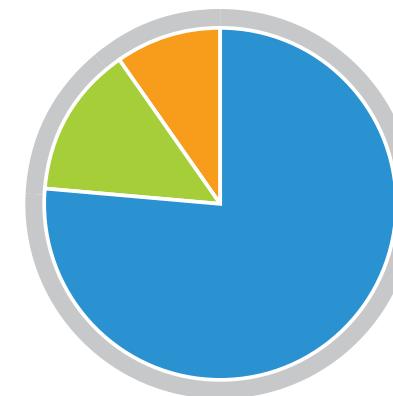
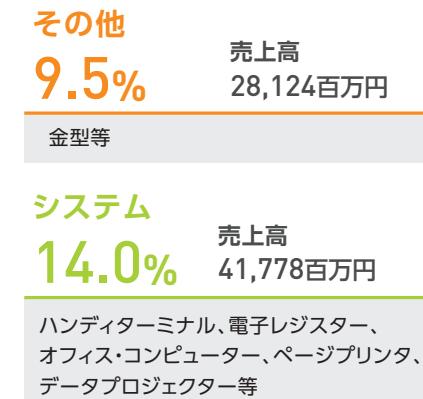
業績ハイライト

科目	連結会計年度	
	2012年度	2011年度
経営成績		
売上高 (百万円)	297,763	301,660
営業利益 (百万円)	20,053	9,065
経常利益 (百万円)	19,702	6,980
当期純利益 (百万円)	11,876	2,556
1株当たり当期純利益 (円)	44.17	9.51

売上高の地域別構成比



売上高のセグメント別構成比



次期(2013年度)の業績見通し

国内景気は最悪期を脱して緩やかな回復の継続を期待できる状況となってきました。このような中で、当社は独自技術を活かした製品の積極的な世界展開を推進し、業績の大幅向上を目指します。主な施策は以下の通りです。

- ①時計事業は、世界的なブランド戦略を強化し、さらなる事業拡大と高収益性の維持を図ります。30周年を迎える「G-SHOCK」をはじめ「Baby-G」「EDIFICE」「OCEANUS」「PRO TREK」「SHEEN」といった6ブランドを中心に、ラインアップを充実させ、世界市場における積極的なプロモーションを展開し、高付加価値化を図ります。
- ②電子辞書事業は、国内市場においては、小学生向け市場の拡大を図り、引き続きナンバーワンシェア維持と高収益性の維持を図ります。また、海外市場においては、中国に加え、ASEANでの開拓を行い、事業拡大を図ります。

- ③システム事業は、法人向けタブレット端末「Paper Writer」などの独創的な製品を顧客ニーズに応じて提供をすることにより、収益性の改善を図ります。
- ④海外販売体制の強化により、新興国などの海外市場で販売拡大を図ります。

なお、新規事業は、「カシオサイネージ事業」の本格展開、「デジタル絵画事業」の早期事業化、「リスト端末事業」の開発を進めます。

2013年度業績見通し(連結)		
売上高	3,200億円	(前期比 +7.5%)
営業利益	250億円	(前期比 +24.7%)
経常利益	230億円	(前期比 +16.7%)
当期純利益	130億円	(前期比 +9.5%)

要約財務諸表(連結)

Financial Data

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2013年3月31日現在)	前連結会計年度 (2012年3月31日現在)	科目	当連結会計年度 (2013年3月31日現在)	前連結会計年度 (2012年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	249,719	244,022	流動負債	115,302	91,585
現金及び預金	56,029	53,128	支払手形及び買掛金	35,709	49,682
受取手形及び売掛金	50,490	57,923	短期借入金	4,400	3,817
有価証券	57,139	49,861	1年内返済予定の長期借入金	25,000	—
たな卸資産	54,115	45,589	1年内償還予定の社債	10,000	—
繰延税金資産	8,002	8,598	未払金	18,777	17,764
現先短期貸付金	15,490	19,430	未払費用	12,849	12,048
その他	9,039	10,038	未払法人税等	2,321	1,914
貸倒引当金	△ 585	△ 545	製品保証引当金	790	840
固定資産	119,603	122,190	その他	5,456	5,520
有形固定資産	64,381	62,409	固定負債	90,052	125,373
建物及び構築物	19,092	18,591	社債	21,278	30,710
機械装置及び運搬具	2,759	1,853	新株予約権付社債	250	250
工具、器具及び備品	3,000	2,306	長期借入金	52,900	77,457
土地	37,206	37,487	繰延税金負債	1,665	1,651
リース資産	1,323	1,284	退職給付引当金	2,700	11,295
建設仮勘定	1,001	888	役員退職慰労引当金	1,878	1,842
無形固定資産	6,068	5,942	その他	9,381	2,168
投資その他の資産	49,154	53,839	負債合計	205,354	216,958
投資有価証券	30,401	33,150	(純資産の部)		
繰延税金資産	13,791	18,030	株主資本	168,226	160,923
その他	5,005	2,676	資本金	48,592	48,592
貸倒引当金	△ 43	△ 17	資本剰余金	65,703	65,703
			利益剰余金	62,523	55,218
			自己株式	△ 8,592	△ 8,590
			その他の包括利益累計額	△ 4,344	△ 11,918
			その他有価証券評価差額金	3,624	490
			繰延ヘッジ損益	△ 143	△ 238
			為替換算調整勘定	△ 7,825	△ 12,170
			少数株主持分	86	249
			純資産合計	163,968	149,254
資産合計	369,322	366,212	負債純資産合計	369,322	366,212

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	前連結会計年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
売上高	297,763	301,660
売上原価	181,479	195,622
販売費及び一般管理費	96,231	96,973
営業利益	20,053	9,065
営業外収益	1,622	2,003
営業外費用	1,973	4,088
経常利益	19,702	6,980
特別利益	923	220
特別損失	1,683	6,485
税金等調整前当期純利益	18,942	715
法人税、住民税及び事業税	3,746	3,616
法人税等調整額	3,225	△ 5,605
少数株主損益調整前当期純利益	11,971	2,704
少数株主利益	95	148
当期純利益	11,876	2,556

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	前連結会計年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,478	10,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,377	3,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,695	△ 30,729
現金及び現金同等物の期末残高	97,350	100,710

財務指標

科目	連結会計年度	
	2012年度	2011年度
財政状態		
自己資本比率 (%)	44.4	40.7
D/E レシオ* (倍)	0.69	0.75
その他		
設備投資額 (百万円)	7,637	6,678
減価償却費 (百万円)	5,325	6,060

*D/Eレシオ=期末有利子負債/期末自己資本

詳細はホームページ「投資家情報サイト」でご覧いただけます。

<http://www.casio.co.jp/ir/>



投資家情報ホーム



財務情報(業績)

株式情報

Stock Information

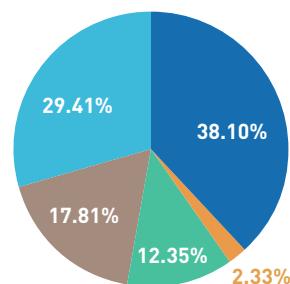
株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数 471,693,000株
 発行済株式の総数 279,020,914株
 株主数 54,078名

○ 所有状況

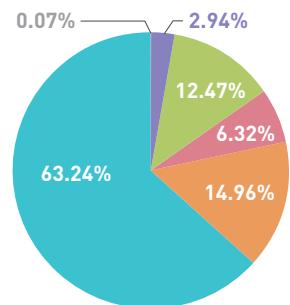
所有者別内訳

- 金融機関 106,302,358株 (株主数 67名)
- 証券会社 6,497,480株 (株主数 58名)
- その他の法人 34,472,853株 (株主数 415名)
- 外国法人等 49,683,283株 (株主数 361名)
- 個人・その他 82,064,940株 (株主数 53,177名)



所有株式数別内訳

- 百株未満 184,653株 (株主数 4,177名)
- 百株以上 8,208,020株 (株主数 31,286名)
- 1千株以上 34,802,947株 (株主数 17,623名)
- 1万株以上 17,633,986株 (株主数 801名)
- 10万株以上 41,737,991株 (株主数 138名)
- 100万株以上 176,453,317株 (株主数 53名)



大株主 (2013年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,681	5.46
日本生命保険相互会社	13,669	5.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	13,365	4.97
有限会社カシオプロス	10,000	3.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,995	3.72
株式会社三井住友銀行	6,821	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,678	2.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,097	1.52
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,693	1.37
カシオ計算機従業員持株会	3,548	1.32

(注) 持株比率は自己株式(10,172,434株)を控除して計算しています。
 また、自己株式は上記大株主からは除外しています。

株価の推移



会社情報

Company Profile

会社概要 (2013年3月31日現在)

商号 カシオ計算機株式会社
 英文商号 CASIO COMPUTER CO., LTD.
 本社 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
 TEL: 03-5334-4111 (代表)

設立年月日 1957(昭和32)年6月1日
 資本金 48,592,025,877円
 従業員数 11,276名(連結)

役員 (2013年6月27日現在)

取締役

代表取締役社長

榎尾 和雄*

代表取締役副社長

榎尾 幸雄*

専務取締役

村上 文庸* (生産資材統轄部長)

榎尾 彰* (コンシューマ・システム事業担当)

常務取締役

高木 明徳* (財務・IR担当)

中村 寛* (営業本部長)

取締役

高島 進* (研究開発 兼 環境担当)

増田 裕一* (時計事業部長)

榎尾 和宏* (新規事業開発本部長)

山岸 俊之* (経営統轄部長)

小林 誠* (総務人事統轄部長)

石川 博一 (社外取締役)

小谷 誠 (社外取締役)

*印の取締役は執行役員を兼務しています。

監査役

監査役(常勤)

寺尾 康史 (社外監査役)

高須 正

監査役

大徳 宏教 (社外監査役)

執行役員

取締役を兼務する者以外の執行役員は以下の通りです。

矢澤 篤志 (生産資材統轄部 副統轄部長)

持永 信之 (コンシューマ事業部長)

泉 徹郎 (システム事業部長)

守屋 孝司 (システム事業部 副事業部長)

榎尾 哲雄 (営業本部 CS統轄部長)

沖室 敏治 (サイネージ事業部長)

榎尾 隆司 (コーポレートコミュニケーション統轄部長)

中山 仁 (新規事業開発本部 デジタルスポーツ開発統轄部長 兼 QV事業部長)

高野 晋 (財務統轄部長)

植原 正幸 (営業本部 国内営業統轄部長)

伊東 重典 (営業本部 米州地域統轄担当)

稲田 能之 (購買推進部長)

井口 敏之 (新規事業開発本部 事業開発部長)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (受付時間 平日午前9時～午後5時)
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 http://www.casio.co.jp/ir/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

本報告書に関するお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社
総務人事統轄部 総務部 総務課
TEL : 03-5334-4845

皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL : 03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

UD
FONT

